

新病院全面開院3ヶ月のご挨拶

病院長 宮下正俊

1. はじめに

JCOM 湘南の「茅ヶ崎まるごとガイド」で茅ヶ崎市立病院の紹介ビデオが放映されているのをご覧になった方もあるかと思います。新病院について要領よく紹介されていますので、まだの方もぜひご覧ください。

新病院入り口を入ると吹き抜けのエントランスホールになりますが、そこで目を引く壁面のアートは湘南の光・水・空を象徴する作品群です。作者松田重仁氏による「芽」と「花びら」と茅ヶ崎の海が穏やかなリズム感を持って表現されています。各階ともそれぞれの作者ごとのテーマをもった作品群が病棟にうるおいとやすらぎを与えているのをご覧になられるでしょう。

さて新病院が全面開院して3ヶ月が経過しました。この間、SARS が世界中を騒がし、当院にも何人の方が相談に見えました。病院も万が一に備えるべく、WHO や厚労省保険福祉事務所からの情報を随時把握するよう努力してきました。しかしもし北京や香港のようなたくさんの患者さんが発生した場合には、日常診療と SARS 治療を両立させうるかということ、はなはだ心許なく、危機管理の最大テーマであると感じました。ひとり病院だけで対応できることでもありません。幸い SARS も7月5日 WHO は「終息」宣言を出しましたが、その発生機序については不明なことが多いようですから、インフルエンザのはやる冬には注意が必要です。

2. 新病院の状況

a. 新設の内科について

1月の「病院だより」でも述べましたが、この4月全面オープンでの特徴の一つは、内科系の充実を図ったことです。紹介状なしではじめて内科系



にかかりたいが、どの内科にかかったらよいかわからないことがよくあります。そのような問題を解決するため、まず最初にかかっていた「総合内科」をスタートさせました。ここでは曜日毎にベテラン医師が交代で診察・治療を行いますが、必要に応じてより専門の科に紹介することもあります。診察前に書いていただく問診票を見ますと、診察せずにはじめから専門の該当内科に回ったほうがよいケースは一割くらいとのこと。途中から改めて専門科を紹介させていただくケースが二、三割、残りは総合内科だけで治療が終了しているようです。まず予想通りの状況ではないかと思えます。

新設の代謝内分泌内科では、特に糖尿病の患者さんが中心を占めています。糖尿病は生活習慣病の中心的疾患の一つで、長期にわたり患者さん自身が自分の生活をコントロールしていく必要があります。教育入院や、公開の糖尿病教室などを通して、どのように生活していったらよいか、特に合併症の予防に力点をおいて指導を行っています。

呼吸器内科では肺炎や喘息などの治療とならんで肺癌の早期発見、早期治療に取り組んでいます。新設しました呼吸器外科では、肺癌の手術や、気胸などの手術を行っています。特に創が小さくてすむ胸腔鏡下手術なども積極的に行っています。

神経内科では脳梗塞などの脳血管障害が主体で、脳神経外科の医師と連携をとって治療にあたりますが、救急入院が多いのが特徴的です。

新しくできた人工透析室では腎臓内科の医師が主体となって治療にあたっています。現在開始したばかりですので、定時の透析は月水金の3日で行っていますが、病棟で救急に透析をまわさないといけない患者さんが続いています。今後、定時の透析回数を徐々に増やしていく予定です。

これらの科の詳しい診療内容については、今後この「病院だより」で、各科から自己紹介をさせていただき予定ですので、ぜひご期待ください。

b.新たにスタートした医療機能

上記のように人工透析がスタートしましたが、他にも例えばNICUが新設されました。NICUとは新生児集中治療室のことです。重症未熟児などで人工呼吸器を必要とする赤ちゃんが治療を受けています。1,000g未満の赤ちゃんも多く、看護師たちが日夜の差なく看護しています。NICUは3床と少ないのですが、NICUに連続する未熟児室を合わせると10数人の重症な赤ちゃんのケアをしています。県内の周産期救急情報網を利用したの救急入院があるため、横浜・川崎から母体搬送（早産しそうな状態のお母さんを救急車で送ってくる）されてこられる妊婦の方も続きました。

新しく設置されたMRI装置や、ESWLも順調に運用されています。ESWLは尿路結石を衝撃波で壊して排泄させる装置で、旧病院時代から待望されていたものです。最新型の機種で精度も高く、痛みも軽くすみます。

健診センターは東側1階に専用の区画として設置されています。ここで日帰りドックが行われています。半日で諸検査を済ませ、その日のうちに健診結果の説明を専門医師からお聞きになって

お帰りいただけます。とくに精査を要する結果がでた場合など、専門科の紹介・受診日の予約などご相談に応じています。ドックは予約制ですので、ご希望の方は医事課にお申し込みください。

リハビリ関係では、5階東病棟(52床)を、回復期リハ病棟に当てました。急性の脳血管障害の方や、整形手術の術後の方などでリハビリテーションが必要な方々の療法をできるだけ早期に開始し、寝たきり状態を回避しようという目的を持っています。医師・看護師の他、理学療法士・作業療法士や看護補助員などが一体となって回復に向け、患者さんとリハビリテーションに取り組んでいます。一階の理学療法室や東側の光庭などを活用しています。

3.おわりに

新病院全面開院から3ヶ月、簡単に報告いたしました。この原稿を書いているのはちょうど七夕の日ですが、各病棟には七夕飾りがあちこちに見られて、患者さんや職員の気持ちを和ませています。短冊には励ましの言葉や、全快への祈りが記されています。

4月に新採用となった若い職員たちもやっと病院業務に慣れてきました。その初心を忘れず、病院の職員全体、心を込めて患者さんのケアに努めたいと思っていますのでよろしくお願いいたします。

JCOM 湘南「茅ヶ崎まるごとガイド」で茅ヶ崎市立病院紹介のビデオ放映

H15年7月1日から毎日3回放映しています。

AM 7:15から

AM 11:15から

AM 0:15から

CATV「JCOM 湘南」の2チャンネルまたは13チャンネルをご覧ください。

